

換気を忘れずに！冬場に多い一酸化炭素中毒の事故

換気扇を回さず湯沸器を使用

事例

ガス湯沸器を使用中、1人が死亡、1人が軽い一酸化炭素中毒になった。(2012年2月 茨城県)

原因

換気扇を使用しなかったため、換気不良により不完全燃焼となり一酸化炭素が室内に滞留しました。また、長期使用でガス湯沸器にほこりとすすがたまって一酸化炭素濃度が高くなりやすい状態でした。



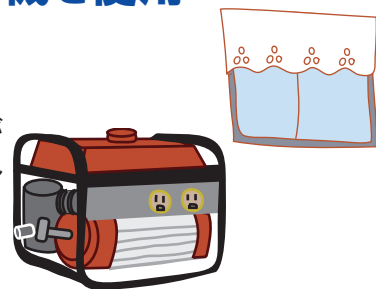
室内で携帯発電機を使用

事例

携帯発電機（ガソリン燃料）を使用中の室内で、3人が死亡した状態で発見された。(2010年11月 三重県)

原因

携帯発電機を室内で使用していたため、排気ガスがこもって一酸化炭素中毒に至ったものです。



閉め切った室内で石油ストーブを使用

事例

死亡事故が発生し、現場に石油ストーブがあった。(2009年12月 福井県)

原因

閉め切った寝室で石油ストーブを長時間使用していたため酸素が不足して不完全燃焼となり、一酸化炭素濃度が上昇したものです。



- ◆ガス湯沸器や石油ストーブなどを使用するときは、定期的に換気をしてください。
- ◆ガス湯沸器やガス給湯機は、長期使用でほこりやすすがたまると不完全燃焼を起こしやすくなります。定期的に掃除をして、事業者の点検を受けてください。
- ◆携帯発電機は、室内や換気の悪い場所などで使用しないでください。排気ガスがたまって一酸化炭素中毒になります。

電気を多く使う冬は、配線器具の事故に要注意！

コードから火花が出て火災

事例

火災が発生して1人が死亡、1人が軽傷を負った。現場に電気あんかがあった。(2008年12月 東京都)

原因

電源コードをねじれたまま使用していたため、断線して火花が出て火災に至ったものです。

トラッキング現象による出火

事例

洗面化粧台付近から出火し、壁が焼けた。(2010年2月 福岡県)

原因

洗面化粧台の電源プラグとコンセントとの間にほこりや水分などが付着してトラッキング現象が生じ、発火して壁が焼けたものです。

電源プラグから出火

事例

延長コードを接続していたコンセント付近から出火し、壁面が焼けた。(2011年2月 奈良県)

原因

定格電流を超える電気製品を接続していたため電源プラグ内部が異常発熱して断線し、火花が出て発火したものです。



トラッキング現象とは？
テーブルタップやコンセントとプラグの周辺にほこりがたまり、そこに水滴や湿気が加わるとプラグの刃と刃の間に電流が流れて火花放電を繰り返します。そうすると、刃と刃の間の樹脂部分が炭化し、電気が通るようになるために発火する現象です。



- ◆コードを曲げたり、ねじったりしないでください。また、傷つけたり、踏み付けたりしないでください。
- ◆電源プラグにほこりや水分が付着しないように気をつけてください。トラッキング現象を防ぐため、器具を長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
- ◆テーブルタップなどに表示された定格電流を守ってください。

⚠ このマークは、取り扱いを誤った場合、重篤な被害を負うことが予想されますので注意をお願いするものです。

